

令和元年度

事業報告書

一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会

令和元年度は、前年度に引き続き、交通信号施設工事に関する諸問題を調査研究し、交通信号施設工事に係る施工技術の向上及び経営の合理化の促進を図るため、

- 調査研究事業
- 普及事業
- 技能研修事業
- 技能検定事業
- その他この法人の目的を達成するために必要な事業

について実施した。

1 業務運営に関する主な行事

主な行事は、次のとおりである。

- (1) 監事監査 平成31年4月12日(金)
- (2) 定時総会 令和元年5月20日(月)
審議事項
平成30年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告に関する件ほか2件
- (3) 理事会
審議事項
(第1回) 平成31年 4月26日(金)
平成31年度定時総会の開催に関する件ほか5件
(第2回) 令和元年 5月20日(月)
代表理事の選定に関する件ほか1件
(第3回) 令和元年11月15日(金)
委員会規程の制定に関する件ほか7件
(第4回) 令和2年 3月 6日(金)
令和2年度事業計画及び収支予算に関する件ほか4件
- (4) 委員会
 - ア 総務委員会
協会における事業計画に係る課題の推進、定款、規程等改正に伴う検討及び各委員会の取組状況の報告により確認・調整を図った。
 - イ 広報委員会
当協会ホームページの効果的運営、広報誌発行、情報収集活動、会員募集活動を推進するとともに、京都府で開催された近畿管区警察局広域緊急援助隊合同訓練に協力した。
 - ウ 安全衛生委員会
交通信号工事甲子園及び近畿管区警察局広域緊急援助隊合同訓練に協力するとともに、「交通信号工事安全必携」の出版、交通信号工事品質向上研究委員会の研究成果を公開した。
 - エ 技能検定委員会
技能検定試験、更新講習会及び事前準備研修会を実施するとともに、

円滑な業務の推進のため、確認、調整を行った。

令和2年度から新たな技能検定制度により技能検定試験等を実施するため、委員会組織の見直しを図った。

2 事業の概要

(1) 調査研究事業

ア 「5Gネットワークの構築に伴う交通信号施設活用に係る研究」に対する協力

5Gネットワークの構築に伴う交通信号機を活用するための調査研究について、UTMS協会の依頼により、信号柱に設置した場合の強度計算等の検討を行った。

イ 技能検定刷新研究委員会による研究・検討

交通信号工事士の公的認定に向け設置した「交通信号工事士将来構想検討会」による検討結果を基に、「技能検定刷新研究委員会」を設置し、令和2年度実施に伴う技能検定規程の改正、規程改正に伴う細則及び工程等について、研究、検討を行った。

ウ 外国人材受入研究委員会による研究・検討

交通信号工業界における外国人材受け入れについてのニーズ調査等を実施し、全信工の果たす役割、必要な予算処置について研究、検討を行った。

エ 「主要機材の使用状況調査」等研究成果の公開

交通信号工事適正化作業部会で行っていた「主要機材の使用状況調査」及び「不具合事例収集及び改善策の検討」をまとめるとともに、ホームページの会員ページに公開した。

(2) 普及事業

ア 交通信号工事に関わる図書の販売の推進と編纂作業の推進

「交通信号工事安全必携」の新規販売及び「交通信号設計ハンドブック」の改訂作業を行った。

また、各種ハンドブックを技能検定資格の更新講習会、受験準備研修会に活用するとともに、交通信号甲子園等での販売等、積極的な販売促進を図った。

イ 防災対応要綱第7条経営事項審査における確認書類の交付
会員会社9社に交付した。

(3) 技能研修事業

交通信号工事士更新講習会の実施

平成31年4月～令和元年5月にかけて、第2種交通信号工事士更新講習会を10会場で実施したところ、197名が受講した。

また、講習内容は、次の3科目である。

「交通信号施設の概要」、「施工技術・施工管理」、「安全管理の方法」

なお、更新講習会は、次の10都市で実施した。

札幌市、盛岡市、東京都、名古屋市、大阪市、岡山市、高知市、松山市、福岡市、宮崎市

(4) 技能検定事業

ア 第1種・第2種交通信号工事士技能検定試験の実施

令和元年8月4日(日)、全国8会場で一斉に試験を実施した。

第1種交通信号工事士は、132名受験、108名合格、資格者数は、273名となった。

第2種交通信号工事士は、254名受験、202名合格、資格者数は、2,546名となり、資格者数の合計は、2,819名となった。

技能検定試験は、次の8都市で実施した。

札幌市、仙台市、東京都、金沢市、名古屋市、大阪市、高松市、福岡市

なお、合格者に交付する「資格之証」は、令和2年度の技能検定試験に対応するようデザインを一新した。

イ 交通信号工事士受験準備研修会の実施

第1種・第2種交通信号工事士技能検定試験受験者を対象に、令和元年6月～7月に全国8会場で、受験準備研修会を実施した。

受講者数は、第1種交通信号工事士を対象とした研修会は、103名、第2種交通信号工事士を対象とした研修会は、116名、計219名が受講した。

研修会は、次の8都市で実施した。

盛岡市、東京都、金沢市、名古屋市、栗東市、大阪市、広島市、福岡市

ウ 技能検定資格の公的認定拡大の推進

技能検定資格の公的認定の拡大を推進するため、技能検定規程を全面的に改正し、技能検定資格を2つから5つに改めるとともに、それに伴う規定等を制定した。新資格は次のとおりである。

「交通信号技士」、「交通信号工事士」、「交通信号監理士」

「交通信号設計士」、「交通信号診断士」

(5) その他この法人の目的を達成するための事業

ア 広報活動

(ア) 情報収集活動

会員の当協会に対するニーズの把握や交通システムの技術情報等情報収集活動を推進した。特に令和2年1月16日(木)には、石川県において、北陸地区の会員に対し、協会活動状況の報告及び参加者との懇親会を実施した。

(イ) 広報誌発行

全信工ニュース号外(三重県警察の交通信号工事士の仕様書の掲載)及び全信工ニュース第25号をホームページに掲載するとともに、警察庁、各都道府県警察本部に提供した。

(ウ) 会員募集活動の推進

理事長、各理事及び広報委員会が中心となり、入会を勧めた結果、新規入会は、正会員2社、準会員1社、計3社で、準会員から正会員の変更が1社で、会員数は208社となった。また、退会は、5社であった。

イ 交通信号工事甲子園の開催

交通信号工事の技術向上、新技術の取得、新人教育、信号工事工法の標準化を目的として技術競技会を東日本及び西日本で実施した。

(ア) 交通信号工事甲子園（東日本ブロック大会）

- ① 期 日：令和元年5月28日（火）
- ② 場 所：埼玉県熊谷市 株式会社アイテック敷地内
- ③ 参加者：約120名

(イ) 交通信号工事甲子園（西日本ブロック大会）

- ① 期 日：令和元年6月3日（月）
- ② 場 所：三重県三重郡菰野町 (株)シンコーワ敷地内
- ③ 参加者：約100名

ウ 近畿管区警察局広域緊急援助隊合同訓練

大規模災害発生を想定して実施された近畿管区警察局広域緊急援助隊及び防災関係機関による合同訓練に対する協力を実施した。

- ① 期日：令和2年1月15日（水）
- ② 場所：京都府南丹市日吉町（STHILの森 京都）
- ③ 訓練想定
殿田・神宮・腰畑断層帯を震源とするマグニチュード7.2の地震発生により甚大な被害が発生。
- ④ 主催：近畿管区警察局、京都府警察本部
- ⑤ 参加者：近畿管区内各府県警察、京都府、自衛隊、全信工
- ⑥ 来賓：警察庁長官、京都府公安委員会、京都府議会
- ⑦ 全信工による協力内容

信号機滅灯対策訓練のため、仮設信号機を設置し、その施設において警察官が可搬式発電機や無停電電源装置を作動させ、停電により滅灯した信号機を作動させる訓練を実施した。

エ 技術講習会の開催

国土交通省関東地方整備局企画部による出前講座で、令和元年5月20日（月）総会開催の前に実施した。

講習内容は、公共工事を取り巻く状況、総合評価落札方式の導入、生産性向上・働き方改革の推進、工事の安全対策、コンプライアンスの取り組み等であった。